



皆さんお元気ですか？ このところ、日本も寒いようですね。こちらは相変わらず寒い日が続いており、ほぼ最低気温-6℃、最高気温0℃という毎日です。たまに最高気温が6℃ぐらいまで上がるときがありますが、太陽がなく、ずっと曇り時々霧雨なので、全く暖かさを感じません。太陽の光を浴びないと、骨の成長に影響を及ぼし、成人だと骨粗しょう症になる恐れがあります。そこで英国人は皆、Vitamin D3のサプリを飲んでいるそうです。ちなみに私も毎日飲んでます。

さて、ロンドンには、世界最高峰の博物館や美術館が、数多くあります。その中でも特に素晴らしいのが、大英博物館とナショナルギャラリーでしょう。この二つの施設には、世界に名だたる展示品が、それはもう、たくさんたくさんあります。見ていて、ただ感嘆の声を上げるのみです。そのうちの一つ、大英博物館について、今回は紹介します。



まず目を引くのが、建物の外観です。古代ギリシャの神殿のような建物を見た時、あついに憧れの大英博物館に来たのだなという感動を覚えました。中に入り、グレートコートと呼ばれるエントランスの美しさを愛でた後、展示室に進みます。そして最初の古代エジプト展示室の入り口には、何とあのロゼッタストーンがあるのです！ もう感動、感動！ 教科書で見たあのロゼッタストーンが、今日の前にあるのです。プトレマイオス王を

称える碑文が、ヒエログリフ（聖刻文字）・デモティック（民衆文字）・古代ギリシャ文字で記されている、あの、本物です！ これを見るだけで、来る価値があります。その後も、ナポレオンが持ち帰ろうとして胸に穴をあけてしまったラムセス2世像、ルクソール神殿を築いたアメンホテプ3世像、ゲイヤーアンダーソンの猫と続きます。…ここまでですすでに疲れるほど感動してしまいます。次の中東ゾーンでも人面有翼牡牛像に迎えられ、ギリシャゾーンではパルテノン神殿の破風彫刻、ミイラや古代ローマ文明、古代アジアの展示品等々…。素晴らしい展示品が次々現れ、これが本当に、美術的にも歴史的にも



貴重で価値のあるものだという感覚を忘れてしまうぐらいです。ちなみに、イースター島のモアイ像もあります。そうそうインディージョーンズに出てきたクリスタルスカルは、モアイと同じ南米ゾーンの片隅、少し暗がりのところにあり、見過ごしてしまっていました。他にも葛飾北斎の神奈川沖浪裏（通称 Big Wave）も所蔵されていますが、特別展の時にしか、お目にかかれません。

ここにはおよそ、700万点もの所蔵品があるそうですが、常時展示されているのは、そのわずか2%ほどの15万点だそうです。私はすでに4回行きましたが、全く飽きないどころか、全部見るためには、あと何回行かなくてはいけないだろう？と、楽しみにしています。とにかく素晴らしいところです！ ここは、見どころの多いロンドンでも、おすすめの場所ですよ！ ちなみに、大英博物館もナショナルギャラリーも含め、イギリスでは、博物館・美術館は、基本的にどこも無料だし、写真撮影もOKです。さすが大英帝国、太っ腹ですね！

